

2027 年に向けた活動方針

2026. 10. 4 公開

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

強化委員会

ジュニア小委員会

1. ヴィジョン

欧州中堅国と同等の競技力を目指し世界に認知されるとともに、オリエンテーリングの世界的な競技スポーツとしての地位確立に貢献するため、存在感を競技力で示す。

2027 年はフォレスト WOC の開催となるが、2028 年のスプリント WOC の準備も並行して強化を進めていく。2027 年に開催される国際大会（WCup、JWOC、AsJYOC）やトレーニングキャンプなどに代表選手を積極的に派遣し、ジュニア・ユース世代の育成を含めた全体の競技力向上に努める。

選手強化の体制については、強化活動の基幹（規程作成、選手選考、遠征支援、合宿開催）を支える強化活動に加え、強化方針に基づいて中長期的に強化を推進するフォレスト・スプリントそれぞれの強化チームを置く。フォレスト、スプリントそれぞれの強化選手を指定して、日本代表チームを編成し年間を通じた強化活動を行う。また、個人コーチ・アドバイザー、所属クラブや大学のコーチ・オフィシャル等の協力、さらには地域クラブとの連携も積極的行いながら強化活動を進める。

JOA は日本オリンピック委員会（JOC）の承認団体となっている。日本代表選手としてのインテグリティ（誠実、真摯、高潔）やアンチドーピングなどの教育を充実させるとともに、アントラージュ（競技活動を支える環境）活動にも注力していく。

2. 大会の位置付けと目標

2.1 WOC

大会の位置づけ：日本代表選手が目標とすべき最高峰の大会。

2.1.1 2030 年までの長期目標

(1) 個人種目：個人 25 位、男女とも 2 人以上の予選通過

K S：準決勝進出

(2) 団体種目：スプリント 10 位、フォレスト 15 位

(3) Division 目標

男子：Division2 への昇格

女子：Division2 を堅持（IOF 発表の WOC2025 の結果発表（2027 年 1 月見込み）で Division3 になっていれば、再昇格とその堅持）

※WOC のロングディスタンスは過去の成績を基に出場可能な選手の上限数が国ごとに 3 つの Division に分けて決められている。Division1(8 ヶ国)、Division2(14 ヶ国)、Division3(その他の国)。現在、日本の男子は Division3、女子は WOC2023 の成績により Division2 への昇格を果たした。男子が Division2 への昇格を果たすためには、23 位と 24 位が Division2 に昇格できる。（注：2026 年 10 月

現在、WOC2027 は特例的に Division が採用されない可能性があるが、その後の WOC2029 以降は戻る見込み。IOF の動向により目標は修正する。)

2.1.2 2027 年 WOC (フォレスト、2027 年 8 月 9 日～14 日、ハンガリー)、2028 年 WOC (スプリント、2028 年 4 月 24 日～29 日、スペイン) における目標

(1) スプリント個人種目：

S 30 位 (伊部 38 位 WOC2022、近藤 40 位/WOC2026)

KS 19 位 (近藤 25 位/WOC2024, 平岡 25 位/WOC2026)

S、KS それぞれ男女とも 1 人以上の予選通過

(2) スプリントリレー種目：

12 位以内 (12 位@WOC2026、22 位@WOC2024)

アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

(3) フォレスト個人種目：

35 位 (稲毛 40 @WOC2021 ミドル、稲毛 41 位 WOC2023 ロング、伊藤樹 44 位 WOC2023 ミドル、伊藤樹 44 位 WOC2023 ロング、小牧 49 位 WOC2025 ミドル)

ミドル男女とも 1 人以上の予選通過

(4) フォレストリレー種目：

男子：18 位 (Division2 を意識、24 位@WOC2025) アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

女子：18 位 (Division2 を意識、21 位@WOC2025) アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ

2.3 WCup (6 月スウェーデン(F)、7 月 チェコ(F)、10 月 スイス(S)、10 月スペイン(S)) F:Forest, S:Sprint

大会の位置づけ：世界レベルのレースを経験できる重要な機会であり、WOC を目指す強化選手、条件を満たすアドバンスト選手を積極的に派遣する。WOC における有利なスタート順を確保するために WRP を稼ぐ場でもある。

2.4 JWOC (2027 年 7 月 11 日～7 月 17 日、ポーランド)

大会の位置づけ：本大会は 20 歳以下という年齢制限が設けられているため、特に大学で競技を始めた選手の多くにとっては最初で最後の出場機会となる。そのような選手については、世界レベルの舞台を経験すること自体に大きな意義があり、これを通じて得られる経験を、以降の競技人生における WUOC や WOC での成果へと結び付けることを期待する。一方、出場二回目以降の選手に対しては、各種目における日本人歴代最高順位 (スプリント種目男子 36 位/女子 66 位、ミドル種目男子 37 位/女子 82 位、ロング種目男子 37 位/女子 67 位) の更新など、具体的かつ高い目標を掲げて取り組ませ、その成果をさらに WUOC や WOC における競技成績に波及させることを重視する。なお、これら具体的な目標については、ジュニア小委員会および強化委員会が遠征チームに対し適宜設定する場合がある。

2.5 AsJYOC (2027 年 8 月 18-22(日程予定)、カザフスタン)

大会の位置づけ：結果を重視すべき大会であり、アジアにおける日本のプレゼンスを示す大会。また同時に、国際大会の難しさや厳しさを知る大会。本大会の直前ではなく、原則として JWOC と同時期（～5月上旬）に代表選手を決定し、国内合宿等で時間をかけて強化を行う。

○M/W20、M/W18、M/W16 各年代のトップ選手を派遣する。すべての種目で優勝およびメダル獲得を目標とする。

○M/W14 は IOF の競技規則に掲載されていないため、このクラスが設定される場合は個別に対応する。

3. 強化活動

3.1 アドバンスト選手登録

強化委員会は、JOA の競技者登録をした選手の中から、競技力向上の意志を持ち、A クラスのコースを自力で完走できる技術、体力のある選手を対象に強化活動を行っていく。希望する選手はアドバンスト選手（ADV 選手）登録を行うことで強化合宿に優先的に参加できる。アドバンスト選手は、年齢により2種類（シニア、ジュニア）の登録種類がある（表1参照）。

日本代表選手に選考されるためには、JOA 競技者登録をしていること、さらに ADV 選手登録を行っていることを条件とする。言い換えると、日本代表選手を目指すための第1ステップとして JOA の競技者登録、第2ステップとして ADV 選手登録となる。現在の、日本のオリエンテーリング代表となるための概念図を以下に示す。詳細は「2027 年 JOA アドバンスト選手登録要領」を参照のこと。

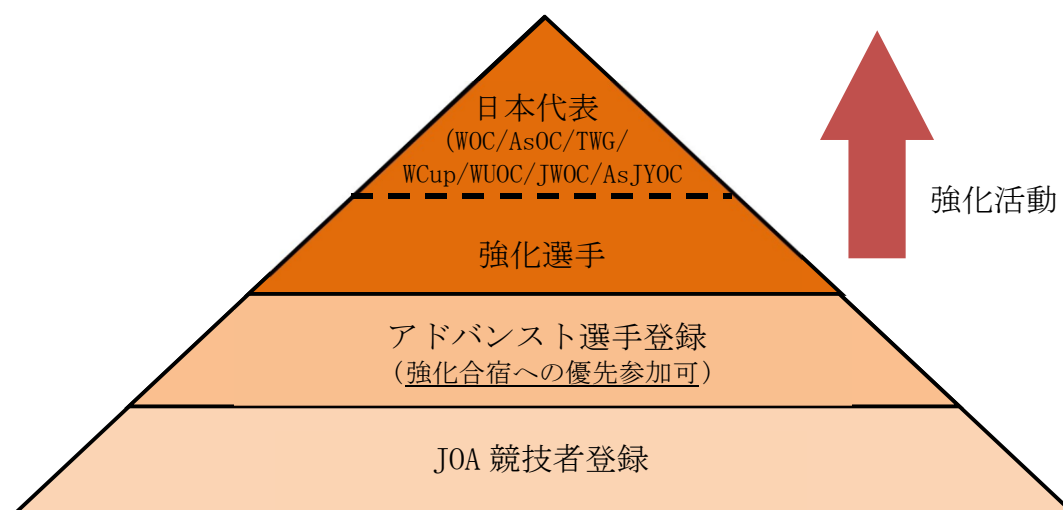


図1 日本代表、強化選手とアドバンスト選手登録の概念図

表1 アドバンスト選手登録の種類と概要

	年齢対象	合宿・練習会参加		選考エントリー		登録費
		スプリント	フォレスト	WOC/WCup	JWOC/ AsJYOC	
1) シニア	21 歳以上	○	○	○	×	6,000
2) ジュニア・ユース	20 歳以下	○	○	○	○	3,000

※ジュニア・ユース：2007 年 1 月 1 日以降生まれ。

3.2 強化選手

ADV 登録された選手の中から、実績やポテンシャルをもとにして、WOC を目指す選手としてフォレスト強化選手、スプリント強化選手を指定する。スプリント強化選手は走力を特に重視し、満たすべき走力基準を設ける。

フォレスト強化選手については、2026 年より、U-25（2002 年 1 月 1 日以降生まれ）の強化選手枠を設け 25 歳以下の選手から 2 名程度を指定する。（従来からの強化選手枠で 25 歳以下の選手が指定された場合も、U-25 の強化選手枠数は維持する）

また、ADV 登録された選手の中から、JWOC/AsJYOC（U16、U18、U20）を目指す選手として U-20 および U-18 強化選手を指定する。

- 1 フォレスト強化選手（男女各 5 名程度 + U-25 男女各 2 名程度）
- 2 スプリント強化選手（特に制限なし）
- 3 U-20 および U-18 強化選手（男女各数名程度）

総合的にナビゲーションおよびフィジカルを強化することで、優れた選手を育成することを目的とする。

※ 強化選手には、強化委員会主催イベントにおけるトレーニング経費の一部を免除する。WCup の参加料は強化委員会が支援する。

3.3 強化選手の指定

「強化選手指定要領」を参照のこと。

4. 日本代表の選考

別途各選考要領を確認のこと。

4.1 代表選考に関する補足

各種国際大会の代表選考においては、選考会や参考レースの結果に加え、選手の実力を長期的に安定して評価できる日本ランキングを今後も活用していく方針である。日本代表を目指す選手には、日頃から日本ランキングで上位を目指すことを意識して取り組んでほしい。

さらに、世界レベルのレース経験を積むことは非常に重要であり、海外レースへの挑戦を推奨している。国内の大会に出場できない海外在住の選手も考慮し、世界ランキング順位、および、WR ポイントについても引き続き代表選考に活用していく。

5. 今後の具体的活動

5.1 フォレスト強化方針

海外招聘ヘッドコーチ（Jari Ikaheimonen 氏）による年間指導のもと、主に WOC2027 を意識した、欧州でのトレーニングキャンプ、ワールドカップ参戦を中心に強化を実施していく。従来から実施している下記活動も継続する。

- ・JOA 合宿を計画的に開催する

- ・地域クラブ等の協力を得て合同練習会を実施する。

5.2 スプリント強化方針

スプリント競技はますます高速化する傾向にあるため、2026 年強化方針と同様に走力重視を強化方針の柱とする。WOC で戦うためには標準 1 のタイムが必要レベルであり、選手は標準 1 のタイムを目指すこと。また、国内でのスプリント技術の向上、リレーやノックアウトスプリントを意識した競り合いの経験を一層増やすために、強化選手中心の練習・合宿の機会を今まで以上に増やす。そのために、以下の活動も継続する。

- ・地域クラブ等の協力を得ながら、スプリント練習会の機会を増やす。
- ・走力チェックのための記録会は各所で適宜実施・斡旋する。

具体的な活動については 2026 年末までに公表する予定である。

5.3 ジュニア強化方針

ジュニア選手の目標となる JWOC および AsJYOC いずれにおいても海外の代表選手と競うためには最低限のフィジカル（すなわち走力）は必須である。フィジカル面の指針として JWOC 代表選手選考会に出場するための 3000m 等の走力基準タイムを設定するが、原則として強化委員会が開催する合宿において走力強化機会は提供しない。ジュニア選手個人では練習が難しいフォレストの技術面強化に重点的に取り組む。但し、走力強化の意識向上を目的として記録会の実施・斡旋に取り組む。また、スポーツコンディショニングの知識を早い段階で身に着ける機会を提供する。

5.4 強化合宿(JOA 合宿)

例年と同様に、強化合宿、練習会を実施する。

- 1 参加資格 強化合宿への参加は、誰でも参加可能とするが、トレーニングの人員に制限がある場合や、目的が限定される場合などは、強化選手、代表選手および ADV 選手を優先する。また参加費は一般参加の場合、割り増しとなる。

JOA/JSP0 の資格を保有した公認コーチによる指導の機会を積極的に取り入れ、選手とともに指導者が成長できる環境を整えていく。

- 2 開催予定（フォレストが中心であるが、早朝にスプリントを組み込むこともある。日程は変更される可能性あり）

4 月 3 日（土）～4 日（日）	F 合宿	静岡県
5 月 15 日（土）～16 日（日）	F 合宿	静岡県他
6 月 5 日（土）	日本代表壮行会（東京都／新宿）	
6 月 12 日（土）～13 日（日）	F 合宿	未定
7 月 31 日～8 月 1 日	F 合宿	静岡県
10 月	F 合宿	日程・開催地未定

S 練習会は、決定次第公表する。

(S 練習会：スプリント練習会、F 練習会：フォレスト練習会、F 合宿：フォレスト合宿)

5.5 WOC2027 に向けた推奨イベント

フォレスト強化選手は、事前のトレーニングキャンプについてヘッドコーチと調整の上日本チームとしての開催時期を決定予定である。決定したトレキャンには、WOCを目指す強化選手以外でも参加可能とする予定だが、実際の運営の都合もあるため、決定次第個別に調整する。

5.6 WOC2028 に向けたイベント

2026 年末以降に発表する。

5.7 強化指定と ADV 選手登録

詳細は、それぞれ、「2027年JOAフットオリエンテーリング強化選手指定要領」「2027 年JOA アドバンス選手登録要項」を参照のこと。

スプリント強化指定 2026 年 11 月 25 日申請受付締切、12 月指定
(その後随時受付、指定期間は WOC2028 終了まで)

フォレスト強化指定 条件を満たした選手の追加申請は随時受付の上、可否を連絡する。
(追加指定は 2027 年 3 月 31 日まで、指定期間は WOC2027 終了まで)

U-20、U-18 強化指定 2026 年 11 月 25 日申請受付締切、12 月中指定
(新たな強化指定期間は 2027 年内のフォレストおよびスプリント全日本大会終了まで)

ADV 選手登録 2026 年 10 月 (予定) 以降随時

6. 遠征経費と助成金の活用

遠征経費に関して、これまで WOC/JWOC の遠征を対象としてスポーツ振興基金助成金を申請してきたが、2027 年についても助成金を申請予定である。ただし、遠征経費 (参加費等) の一部しか補助することができず、また助成金も確約されたものではない。渡航費 (航空券代) は代表選手、帯同オフィシャルとも自己負担、大会参加費、現地経費 (帯同オフィシャルのエントリー代・宿泊費も含む) は代表選手が負担することを基本とし、助成金や寄付金を得ることができた場合は負担軽減を図る。代表選手、帯同オフィシャルの負担が大きくなり過ぎる場合には、強化委員会が経費の一部負担をする。

7. 問い合わせの送付先

送付先：kyouka■orienteer.jp ■=@

題目：「2027 活動方針」

本文に、所属、氏名、連絡先 (メール発信元への返信で良い場合は不要) を明記の上送付下さい。

8. 主要な国内・国際大会・イベント

2027/4/2-6	WOC2027 トレキャンプ	ハンガリー	F
2027/6/2-6	WCup2027 Round 1	スウェーデン	L, M, R
2027/7/2-6	WCup2027 Round 2	チェコ	L, M, R
2027/7/11-7/17	JWOC2027	ポーランド	S, SR, L, M, R
2027/7/15-18	WOC2027 セレレース	ハンガリー	F
2027/8/9-14	WOC2027	ハンガリー	M, L, R
2027/8/18-22	AsOC2027 & AsJYOC2027	カザフスタン	S, M, SR
2027/10/1-3	WCup2027 Round 3 & EOC	スイス	S, KS, SR
2027/10/30-31	WCup2027 Round 4	スペイン	S, SR

※WOC2028 のトレーニングキャンプは 2026/12 から 2028/3 まで計 6 回予定されている

注記：

WOC：	フット 0 世界選手権大会
AsOC：	フット 0 アジア選手権大会
TWG：	フット 0 ワールドゲームズ(The World Games)
WCup：	フット 0 ワールドカップ
EOC：	フット 0 ヨーロッパ選手権大会
WUOC：	フット 0 世界大学選手権大会
JWOC：	フット 0 ジュニア世界選手権大会
AsJYOC：	フット 0 アジアジュニア・ユース選手権大会
WRE：	ワールドランキングイベント（WOC、WCup、AsOC を含む）
WRP：	ワールドランキングイベントにて選手に付加されるポイント
L：	ロングディスタンス
M：	ミドルディスタンス
R：	フォレストリレー
S：	スプリント
KS：	ノックアウトスプリント
SR：	スプリントリレー
F：	フォレスト
Q：	予選
QF：	準々決勝
SF：	準決勝
F：	決勝

以上